

ディプロマ・ポリシー（修得する能力）

数理・計算科学コースでは、次のような力を修得することができる。

- ・ 数理科学に関する知識と技能
- ・ 研究対象の数学的構造を的確に捉え、論理的に表現する能力
- ・ 現実の複雑な問題を明快な数理的枠組みとして把握し、さらにそれをアルゴリズムとして表現・実現できる能力
- ・ 計算機アーキテクチャとソフトウェアシステムなど計算機科学に関する知識と技能
- ・ 数理科学と計算機科学を融合したアプローチを提起できる能力

カリキュラム・ポリシー（教育内容）

本コースでは、「ディプロマ・ポリシー（修得する力）」を計画的かつ効率的に履修できるカリキュラム計画に沿って講義、演習、実験を構成している。主に次のような内容の学修を行う。

- A) 諸問題に現れる数学的構造， 計算機援用を駆使する数学研究アプローチの学修
- B) 様々な問題に対する数理モデルとその処理法の構築などの学修
- C) 数理論理学， アルゴリズム， 計算理論， 計算機アーキテクチャ， ソフトウェアシステムなど計算機科学に関する知識と技能の学修
- D) 広い視野を養い， 主体的に進める学修:
教員や他の大学院生とのディスカッション形式のゼミを中心とする少人数教育， 研究室間の交流による積極的な情報交換，
そして修士論文研究などを通じて主体的に取り組む力をつける学修
- E) コミュニケーション能力の強化学修:
修士論文研究の論文作成に要求される文書化力と， 研究室でのゼミや研究室間の交流を通じた発表力の養成学修

アドミッション・ポリシー（求める人材像と求める力）

数理・計算科学系では、次のような人材を求めます。

- ・論理・数学的な理論体系と現象の背後にある数理科学的構造に興味を持つ人
- ・学部レベルの数学とその応用分野、コンピュータシステムとプログラミングの基礎知識を身につけている人

アドミッション・ポリシー（入学者選抜方針）

数理・計算科学系の専門に関する学力、英語による語学力、適性などについて、面接形式の試問、筆答試験などにより、数理・計算科学系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。